

■ 施策評価シート

施策番号	13-01-①	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	うるおい・景観
		基本方針	27. 草津川跡地の空間整備
施策名	草津川跡地の整備		

施策の概要

草津川跡地について、質の高い「緑空間」といった市民の憩いの場、災害時避難の場などとしての活用を図るため、市民ニーズを踏まえながら整備を進めます。

成果指標(単位)	整備進捗率(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	20	40	40
実績値	10	15	21	40

成果指標実績に対するコメント

草津川跡地を6つに分けた区間のうち、優先整備区間である区間2および区間5の整備を終えることができ、目標値を達成することができた。(整備進捗率については、区間2から区間6までの総事業費に占める執行済額の割合を整備面積に換算して計上。)

施策の達成度評価

これまで優先整備区間として整備を進めてきた区間2および区間5について、整備を完了し、平成29年度から都市公園として供用開始することができた。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

これまでの実績を活かし、新たな区間の整備に向けた検討、調整等を行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
草津川跡地整備事業	草津川跡地整備課	○	平成28年度に整備を完了し、平成29年度から都市公園として供用開始を行うことができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	13-02-①	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	うるおい・景観
		基本方針	28. やすらぎ・憩いの環境づくり
施策名	公園・緑地の整備		

施策の概要

緑の基本計画に基づき、緑化重点地区と都市公園の整備を進めるとともに、子どもの居場所の適切な整備を行います。

成果指標(単位)	公園・緑地面積(ha)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	73.3	76.1	78.8
実績値	71.8	75.8	79.1	88.6

成果指標実績に対するコメント

草津川跡地公園(区間2および区間5)の整備が終了し、供用を開始したことにより、公園面積が大きく増加した。
設置公告:平成29年3月14日 面積:93,390㎡

施策の達成度評価

公園施設長寿命化計画に基づき、国から補助を受け、都市公園の整備を進めることができた。また、安心して利用できるよう、効率的・効果的な改修工事を行うことができた。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

野村公園および野路公園の整備を進めるとともに、公園施設長寿命化計画に基づく施設の改修工事等を行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

中心市街地活性化基本計画に基づき、都市公園事業として野村公園の整備を進めることになり、公園の不足する市街地において公園整備が可能となった。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ロクハ公園運営事業	公園緑地課	○	長寿命化対策工事やファシリティマネジメントに基づく保全工事を実施し、施設の安全対策を行うことができた。
児童公園等維持管理事業	公園緑地課	○	複合遊具をリニューアルするなどの再整備を行い、快適な公園環境を維持・向上することができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
野路公園整備事業	公園緑地課
野村公園整備事業	公園緑地課
弾正公園運営事業	公園緑地課
公園関係団体負担金事務	公園緑地課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	13-02-②	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	うるおい・景観
		基本方針	28. やすらぎ・憩いの環境づくり
施策名	まちなみ緑化の推進		

施策の概要

それぞれの住宅などの緑化や、ガーデニングによる市民参加の公共空間緑化を促進するとともに、緑化フェア等を通じたまちなみ緑化の普及啓発を行います。

成果指標(単位)	植樹率(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	50	60	70
実績値	69	79	82	93

成果指標実績に対するコメント

第2次草津市緑の基本計画において、平成32年度までに5万本、年間5,000本の植樹を目標としている。平成28年度の開発行為等による民有地の緑化本数は、5,441本であり、平成22年度からの累計が46,541本となり、目標本数に向けて着実に植樹がなされている。

施策の達成度評価

開発行為等における事務の際に、緑化の重要性を説明し、協力を求めた。また、10月には、ロクハ公園の指定管理者とともに緑化フェアを開催し、緑化啓発に取り組んだ。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

緑化啓発を継続して行うとともに、市民参加による緑化の取り組みを進める。また、ガーデニングによる公共空間緑化を推進するため、第2次草津市緑の基本計画を見直す。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

草津川跡地公園の供用開始に伴い、ガーデニングによる市民参加の公共空間緑化を推し進めることができた。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ガーデニング推進事業	公園緑地課	○	ガーデニングサークルへの補助金交付を行うことで、サークルの自主的、自立的活動を促進させることができた。
花街道推進事業	公園緑地課	○	平成28年度からはスイセンの球根の掘り起こしと配布を行った。
緑化推進事業	公園緑地課	○	緑化フェアを開催したほか、宿場まつりや環境イベントでの緑化啓発を実施した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	13-02-③	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	うるおい・景観
		基本方針	28. やすらぎ・憩いの環境づくり
施策名	水辺空間の活用		

施策の概要

恵まれた水辺環境を、まちと市民生活のうるおい資源・親水空間として整備し生かします。

成果指標(単位)	平湖・柳平湖公園および狼川河川公園の供用開始面積(ha)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	0.8	0.8	0.8
実績値	0.1	0.8	0.8	0.8

成果指標実績に対するコメント

平成26年度末に平湖・柳平湖公園および狼川河川公園の供用を開始したことにより、目標を達成することができた。

施策の達成度評価

平湖・柳平湖公園は、公園の利用が容易になるよう北側ゾーンに駐車場を、西側ゾーンに休養施設を整備した。狼川河川公園は、河川区域を適切に管理しながら、広場や園路、便益施設等を整備した。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

地元町内会等と調整を行いながら、誰もが利用しやすい公園となるよう検討を続ける。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

公園整備にあたっては国の補助金を財源にしているが、要望額どおりの配当が得られない状況である。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
平湖・柳平湖公園整備事業	公園緑地課	○	平成26年度末に事業を完了し、供用開始した。
狼川河川公園整備事業	公園緑地課	○	平成26年度末に事業を完了し、供用開始した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	13-03-①	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	うるおい・景観
		基本方針	29. 良好な景観の保全と創出
施策名	自然的・歴史的景観の保全と活用、都市景観の形成		

施策の概要

琵琶湖や田園などの広がりのある自然や、宿場町の佇まいが残る旧街道の歴史的なまちなみなどの良好な景観を保全・活用するとともに、うるおい豊かで心地よさが感じられる市街地景観の形成を図り、良好な景観形成を推進します。

成果指標(単位)	市内および居住地周辺の景観に好感が持てると感じる市民の割合(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	29.2	31.7	33.2
実績値	32.1	32.6	32.3	33.7

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、市内および居住地周辺の景観に好感が持てると感じる市民の割合は前年度より1.4%上がった。景観づくりに関する啓発に取り組んできた結果、地域の景観に対する注目度や評価に変化があったものと推測される。単年度でみると目標値以上ではあるものの、調査年度により多少の増減がある。

施策の達成度評価

地域の景観に対する気運の醸成を図った結果、景観法に基づく住民提案制度により、地元地権者を中心とした景観形成重点地区準備会から景観形成重点地区の指定提案がなされた。また、屋外広告物については、昨年度に引き続き主要な幹線道路沿いの事業者を中心に申請指導を行うほか、業界団体との官民連携によるタウンミーティングの実施など、屋外広告物の適正化にむけて取組みを進めた。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

景観を生かしたまちづくり推進事業については、地域の景観資源の発見と認識をさらに深めることにより、地域の景観への愛着や取り組みの機運が高まるよう、市民等の主体的な景観づくり活動を引き続き支援する必要がある。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
景観を生かしたまちづくり推進事業	都市計画課	○	継続的に普及啓発を行った結果、景観形成重点地区準備会から景観法に基づく景観計画の変更の提案がなされた。
屋外広告物管理事務	都市計画課	○	業界団体との官民連携によるタウンミーティングを開催し、広告物の申請や安全点検の必要性について事業者に指導を行った。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
地域街なみ形成推進事業	都市計画課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。